

令和3年度の取組の概要

学 校 名	大崎市立古川第一小学校	主な取組教科	算数	
研 究 主 題	学ぶ楽しさを実感しながら確かな学力を身に付ける児童の育成 —数学的な見方・考え方を働かせて学び合う算数科の授業を通して—		研究年次	3 / 3年次

1 今年度の主な学力向上の取組と成果

学力向上の取組	成 果	評価の根拠
児童の問いをつなぐ発問の仕掛け ① 既習事項とのずれに気付かせる発問を行う。(導入時) ② 児童に問いを持たせ、学習意欲の喚起や知的好奇心への揺さぶりの発問を行う。(導入時・展開前半時) ③ 自力解決時に、児童の新たな問いが生まれるように、他の解き方や方法を問う発問を行う。(展開前半時) ④ 集団解決時に、考えの根拠を明確にしたり、共通点や相違点に気付かせたりするよう、問い返しの発問を行う。(展開後半時) ⑤ 学習した考えの良さや一般性、発展性に気付かせる発問を行う。(展開後半時・まとめ時・振り返り時)	<ul style="list-style-type: none"> 事前に作成していた発問構成表に基づいて発問を行うことで、前時までの学習と本時の学習との違いに着目させたり、立式の根拠を考えさせたり、考えの共通点に気付かせたりすることができた。 考えの交流の際に、適時、問い返しを行うことで、児童の考えの根拠がより明確になったり、考えの共通点や相違点に気付かせたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時の発問において、問題解決に必要な見方や考え方に気付かせることで、意欲的に問題解決に取り組む児童の様子が見られた。 教師の問い返しによって、考えの良さに気付いたり、友達の考えとの相違点に気付き、見方が広がったりした様子が、児童の学習感想から多く見受けられた。
考えを広げ深める集団解決の仕掛け ① 全体共有の時間には、教師がコーディネートし、児童の発言・発表をつなぎ、多くの児童に関わらせることで、児童の学びを深められるようにする。(展開後半時) ② 全体共有の時間には、誤答や誤認識を生かした学習を取り入れたり、立式等の意味を考えさせたりすることで、考えを広めたり深めたりさせられるようにする。(展開後半時)	<ul style="list-style-type: none"> 児童のつぶやきやうなずきを拾いながら話し合いを深めたり、意図的指名で児童の考えを引き出したりすることができた。 発問構成表に基づいた授業づくりにより、児童の数学的な見方・考え方を引き出したり、それらを活用して話し合いを深めたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の意識調査では、自分の考えを友達に伝えたことや、友達の考えを聞いて理解できたことが、算数の学習の楽しさや分かりやすさの要因になっていることが見受けられた。 多様な考えに触れることが、学習内容の確実な理解につながっていることが、集団解決後のノート記述から見受けられた。

2 残された課題・要因と今後の方向性

課題・要因	今後の方向性
課題： 児童の深い学びにはつながらなかった。 要因： 児童の考えに対して、その求め方の根拠を引き出したり、考えを深めたりする発問とタイミングが最良ではなかった。	児童が主体的に問題に向き合う時間を確保したり、既習内容や見方・考え方を多面的に働かせながら課題を解決できるよう発問を精選したりしていく。そうすることで、深い学びにつなげていく。
課題： 全員参加型の授業にはならなかった。 要因： 理解している児童と一問一答のように進めてしまった。	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実により、児童の主体的な学びを促進するとともに、全員参加型の授業を目指していく。

◆大崎市立古川第一小学校ホームページ URL: <http://www2.educ.osaki.miyagi.jp/furukawa1-s/index.html>公開研究会ホームページ URL: <https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/r03furu1koukai/>